

観点別評価の方法と評価の基準例

科目名：生物基礎

使用教科書	数研出版『新編 生物基礎』
-------	---------------

3つの観点についての評価の方法と評価の基準の例をご紹介します。  
 「生物基礎」の全範囲について、複数の例を収録しています。このサンプルには、第1章 第1節のみが含まれています。

●例1

章	節	評価の観点	評価規準(評価の方法)	評価基準		
				A	B	C
第1章 生物の特徴	第1節 生物の多様性と共通性	知識・技能	生物の多様性や共通性についての事例を理解している。	生物のもつ多様性と共通性を系統と結びつけて理解している。	生物の多様性と共通性は共通祖先から進化してきたことによることを理解している。	地球上に存在する生物の多様と共通性の関係を十分には理解していない。
		思考・判断・表現	生物の多様性と共通性の由来について説明することができる。	細胞という共通性を持ちながら多様性があることを進化の視点で説明できる。	進化による多様性と、生物として細胞を持つことをそれぞれ説明できる。	多様な生物の存在や生物に共通する細胞についてうまく説明ができない。
		主体的に学習に取り組む態度	生物の多様性や共通性についての知識や理解をもとにして身の回りの生物を知ろうとする。	自分の理解を他の生徒に説明するとともに、他の生徒の説明を聞き理解を深めようとする。	自分の理解を他の生徒に説明して自らの理解を深めようとする。	教師や他の生徒の説明を聞き、理解を深めようとすることができない。

例2は次ページに掲載しています

●例2

章	節	評価の観点	評価の内容	評価の方法	評価基準		
					A	B	C
第1章 生物の 特徴	第1節 生物の 多様性 と共通 性	知識・ 技能	・生物が「細胞からできている」、「遺伝情報としてDNAをもっている」、「生命活動にはエネルギーが必要」などの共通性をもつことを理解する。 ・生物のもつ共通性は共通の祖先に由来することを理解する。	・「この節の目標の振り返り」①、② (p.30)に答えさせる。 ・章末問題(p.50,51)の用語チェック1～8、演習問題1,2に答えさせる。	キーワードを概ね正しく用いて説明することができる。	一部誤りがあるがキーワードを用いて説明できる。	1つもキーワードを正しく用いて説明できていない。
			・観察①「さまざまな生物の細胞の観察」(p.26,27)を行い、さまざまな生物に、細胞からできているという共通性が見られることを確かめる。	・細胞を観察するのに適したプレパラートを作成させる。 ・目的とする観察対象を観察させる。 ・細胞の大きさや形態に着目して比較させ、レポートにまとめさせる。	実験操作を適切に行うことができる。	一部誤りがあるが概ね適切に行うことができる。	実験操作を適切に行える場面がほとんど見られない。
		・観察②「原核細胞の観察」(p.30)を行い、原核細胞と真核細胞の違いを知る。	・細胞を観察するのに適したプレパラートを作成させる。 ・目的とする観察対象を観察させる。 ・細胞の大きさや形態などの特徴をレポートにまとめさせる。	実験操作を適切に行うことができる。	一部誤りがあるが実験操作を概ね適切に行うことができる。	実験操作を適切に行える場面がほとんど見られない。	
				実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	一部誤りがあるが実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	
				実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	一部誤りがあるが実験操作を概ね適切に行うことができる。	実験操作を適切に行える場面がほとんど見られない。	
				実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	一部誤りがあるが実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	実験の目的を踏まえたレポートの書き方(スケッチなどの書き方も含む)ができていない。	
	思考・ 判断・ 表現	・さまざまな哺乳類の比較に基づいて、生物が生息環境に適した形態や機能をもっていることに気づき、説明できる。	・「Quest」(p.21)について考えさせ、記述等で表現させる。	生物が生息環境に適した形態や機能を持っていることを説明することができる。	一部不十分なところが見られるが概ね生物が生息環境に適した形態や機能を持っていることを説明することができる。	生物が生息環境に適した形態や機能を持っていることを説明できていない部分が見られない。	
		・中学校で得た知識などを活用して、哺乳類に見られる共通性について説明できる。	・「Quest」(p.22)について考えさせ、記述等で表現させる。	哺乳類に見られる共通性について説明することができる。	一部不十分なところが見られるが哺乳類に見られる共通性について説明することができる。	哺乳類に見られる共通性について説明できていない部分が見られない。	
		・系統樹を正しく読み取ることができる。	・「Quest」(p.23)について考えさせ、答えさせる。	3つの特徴をすべて正しく判断することができる。	1つ以上の特徴を正しく判断することができる。	1つも特徴を正しく判断できない。	
		・さまざまな生物の比較に基づいて、すべての生物に見られる特徴について考え、共通性を見いだすことができる。	・「Quest」(p.24)について考えさせ、記述等で表現させる。	すべての生物に共通する特徴として細胞について言及することができる。	すべての生物に共通する特徴として膜や区切りといった細胞ととれる表現が見られる。	すべての生物に共通する特徴として細胞ととれる表現が見られない。	
		・生物と生物でないものを見分け、その判断理由について「生物の共通性」をもとに説明できる。	・「考えてみよう」(p.25)について考えさせ、記述等で説明させる。	「生物の共通性」をもとに生物と生物でないものを判断することができ、理由を説明することができる。	「生物の共通性」をもとに生物と生物でないものを判断することができるが、理由を説明することができない。	「生物の共通性」をもとに生物と生物でないものを判断することができない。	
		・生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	・「Quest」(p.21,22,23,24)、「考えてみよう」(p.25)などのそれぞれの発問に対する生徒の取り組み。 ・学習内容をノート・レポートにまとめさせたり、学習内容についてまとめたことを発表させたりする。	発問に対して自分の考えを表現することができた。 学習内容をノート・レポートにまとめたり、学習内容についてまとめたことを発表することができた。	一部できていないものもあるが発問に対して自分の考えを表現することができた。	発問に対して自分の考えを表現できたものがほとんどなかった。	
	主体的 に学習 に取り組 む態度	・単元学習を通して自らの学習を調整しようとする。	この単元での学習内容を振り返り、次の単元での学習の改善点を記述等で表現させる。	学習の改善点を具体的にあげることができた。	一部抽象的な表現が見られるが学習の改善点をあげることができた。	学習の改善点をあげることができなかった。	